

図 1. 小学生のヘッドホン使用経験の有無

「学年」と「ヘッドホン使用経験」に関連があるのではないかと仮説を立て、カイ 2 乗検定を行った。その結果、学年とヘッドホン使用経験とは関連性がみられた ($P < 0.001$, 図 2)。すなわち、ヘッドホンの使用経験が「ある」と回答した「3 年生」は 70.3%、「4 年生」は 78.5%、「5 年生」は 78.5%、「6 年生」は 95.2%で、学年が上がるにつれヘッドホン使用経験者の割合は多くなった。

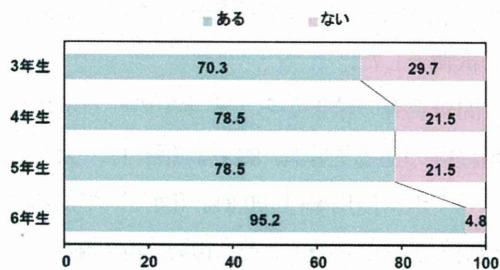


図 2. 学年とヘッドホン使用経験の有無の関係 ($P < 0.001$)

質問 2.どのくらいの頻度でヘッドホンやイヤホンを使いますか....

「月に 1 ~ 2 回」と回答した者が最も多く 36.9% (105 名), 次いで「週に 1 ~ 2 回」が 19.2% (55 名), 「週に 3 ~ 4 回」が 16.8% (48 名), 「ほぼ毎日」が 10.8% (31 名), 「その他」が 16.1% (46 名) であった (図 3)。

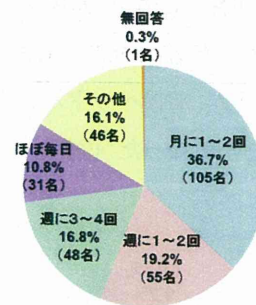


図 3. ヘッドホン使用頻度

質問 3.ヘッドホンやイヤホンを使うと、耳が聞こえにくくなると思いますか

「思う」と回答した者が 40.1% (143 名), 「思わない」と回答した者が 58.3% (208 名) であり、ヘッドホンの使用により耳が聞こえにくくなることを認識している児童は 4 割程度であった (図 4)。

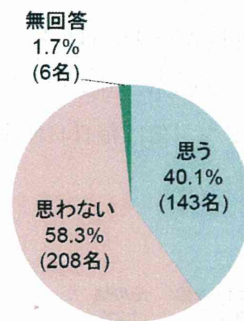


図 4. ヘッドホンの使用により耳が聞こえにくくなると思うか

C.2. 大学生への質問紙調査

C.2.1. 調査対象

アンケート調査の対象者である B 大学の学生 (全 357 名) を対象とした。

C.2.2. 結果

質問 1.ヘッドホンやイヤホンを使っていますか....

「はい」と回答した者は 90.8% (324 名), 「いいえ」と回答した者は 9.2% (33 名) であり, 約 9 割の学生が, 普段ヘッドホンを使用していることが明らかになった (図 5).

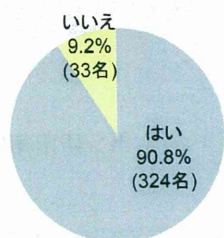


図 5. 大学生のヘッドホンの使用の有無

質問 2 どのくらいの頻度でヘッドホンやイヤホンを使いますか...

「ほぼ毎日」と回答した者が最も多く 59.3% (192 名), 次いで「週に 3 ~ 4 回」が 20.7% (67 名), 「週に 1 ~ 2 回」が 15.4% (50 名), 「月に 1 ~ 2 回」が 3.4% (11 名), 「その他」が 1.2% (4 名) であった (図 6). 従って, 約 6 割がヘッドホンを「ほぼ毎日」使用していることが明らかになった.

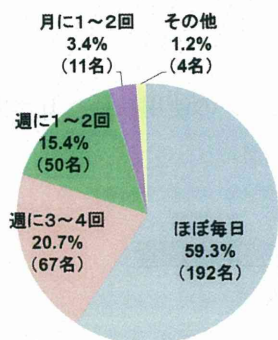


図 6. ヘッドホン使用頻度

質問 3 ヘッドホンやイヤホンを使うと, 耳が聞こえにくくなると思いますか

「思う」と回答した者が 53.8% (192 名), 「思

わない」が 18.5% (60 名), 「わからない」が 27.2% (97 名) であった (図 7).

従って, 約半数の者がヘッドホンの使用により耳が聞こえにくくなると思っているということが明らかになった.

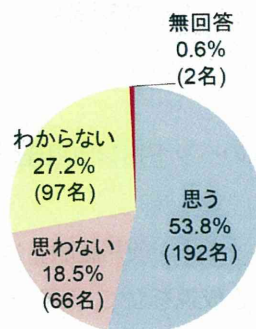


図 7. ヘッドホンの使用により耳が聞こえにくくなると思うか

D. 考察

本分担研究は, 大学生や小学生にヘッドホンの使用状況やヘッドホン難聴に対する認識を質問紙調査した.

質問紙調査の結果から, 小学生のヘッドホン使用経験のある児童は 80.1% (図 1), 大学生のヘッドホン使用率は 90.8% (図 5) であることが明らかになった. また, 1992 年の調査では高校生のヘッドホンの所有率は 41%, 1989 年の調査では中学生のヘッドホン使用率は 51% であった. これらのことから, 約 20 年前と比較してヘッドホンは社会全体に広く普及し, 生活に深く根付いていると考えられる.

しかし, ヘッドホン使用に関する意識は高いとは言えないことが明らかになった. 本研究では, ヘッドホンの使用により耳が聞こえにくくなると思う者の割合は小学生で 40.1%, 大学生で 53.8% という結果となった (図 4, 7). また, 過去に高校生を対象とした調査では, 「ヘッドホ

ンを使うことによって難聴が引き起こされると
思うか」という質問に対して「思う」と答えた
者の割合は 55.3%，中学生を対象とした調査で
は、「ヘッドホン等を使うと耳が聞こえにくくな
ると思いますか」という質問に対して「思う」
と答えた者の割合は 41.1%である。ヘッドホン
の使用率は、約 20 年前と比較して約 30 ～
40%上昇しているのにもかかわらず、ヘッドホン
使用に関する意識はほとんど変わっていない。
これらのことから、ヘッドホンによる聴覚への
影響を意識せず、ヘッドホンを使用している者
が増加しているということが言える。

ヘッドホン難聴の原因は、大音量で聴くこと、
長時間聴くこと、周波数の高い音を聴くことな
どである。しかし、ヘッドホン難聴の発症には、
その時の体調や精神面、耳の強さ等、個人差が
あり、一概に、大音量で長時間の音を聴くと絶
対にヘッドホン難聴になるとは言えない。本調
査では、ヘッドホン使用時間と自覚症状の有無
に関連性が認められ（データ未掲載）、ヘッドホ
ン使用時間が長くなるほど、自覚症状のある者
の割合が増える傾向がみられた。そのため、ヘ
ッドホン使用に関する指導の際には長時間の音
を聴かないことでヘッドホン難聴のリスクを軽
減できるが、普通の大きさの音を聴いていても、
必ずしもヘッドホン難聴を防ぐことができると
は言えないということを伝えていく必要がある
と思われる。

現段階では、ヘッドホンを使っている人の聴
覚の変化を数千人から数万人単位で数十年にわ
たって調査した例は乏しく、症例も少ない。し
かし、ヘッドホンの使用率が増加し、ヘッドホ
ンが社会全体の生活に定着しているため、今後
ヘッドホン難聴になる者が増えていく可能性は
十分に考えられる。従って、ヘッドホン使用に
よる聴覚への影響が示唆されている現代におい

ては、学校でのヘッドホン難聴についての指導
や啓蒙は、児童生徒の聴覚を守るために必要な
ことであると考えられる。

ヘッドホン使用に関する指導については、児
童生徒の実態を踏まえたうえで行う必要がある。
影山の調査によると、ストレス感・疲労感の発
散・気晴らし行動等のためにヘッドホンが多用
されがちであり、ヘッドホンの過度の使用状況
が存在する場合、その背景には心身の健康問題
が隠れている可能性がある。従って、ヘッドホ
ン使用に関する指導の際には、大音量・長時間
の使用を控えることとあわせて、ストレス解消
方法に関する指導をすること、心身の健康問題
に配慮すること等が必要である。さらに、本
研究の結果から、小学生、大学生ともに、音楽
聴取にのみヘッドホンを使用しているのではな
く、ゲームや語学、楽器の演奏のためにヘッド
ホンを使用している者もいることが明らかにな
った（データ未掲載）。従って、指導の際には音
楽聴取を目的としたヘッドホンの使用に焦点を
当てるだけでなく、ゲームや楽器の演奏等、
広い範囲に焦点を当てて指導をしていくことが
重要であると考えられる。

E. 研究発表

論文発表

- (1) 中島梨香, 石原研治, 難聴患者とその家族
が抱える悩みと社会現状の違いについて,
茨城大学教育学部紀要 (教育科学), 2012,
61: 351-365.
- (2) 嶋田麻美, 石原研治, 聴覚障害理解のため
の新規教育方法の考案, 茨城大学教育実践
研究, 2011, 30:219-223.
- (3) 小島由貴子, 石原研治, 難聴患者の現状理
解と新規教育実践方法の考案, 茨城大学教
育実践研究, 2011, 30:203-217.
- (4) 岸上葉子, 石原研治, 難聴児に対する配慮
のあり方 - 難聴児をとりまく学校環境に
ついて -, 茨城大学教育実践研究, 2011,
30:195-201.

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Okada, H., Iizuka, T., Mochizuki, H., Nihira, T., Kamiya, K., Inoshita, A., Kasagi, H., Kasai, M., Ikeda, K.	Gene transfer targeting mouse vestibule using adenovirus and adeno-associated virus vectors	<i>Otology & Neurotology</i>	in press		
Mizuno, N., Suzuki, T., Hirasawa, N., Nakahata, N.	Hetero-oligomerization between adenosine A1 and thromboxane A2 receptors affects cellular signal transduction on stimulation with high and low concentrations of agonists for both receptors	<i>Eur. J. Pharmacol.</i>	677	5-14	2012
中島梨香, 石原研治	難聴患者とその家族が抱える悩みと社会現状の違いについて	茨城大学教育学部紀要	61	351-365	2012
Inaoka, T., Shintaku, H., Nakagawa, T., Kawana, S., Ogita, H., Sakamoto, T., Hamanishi, S., Wada, H., Ito, J.	Piezoelectric materials mimic the function of the cochlear sensory epithelium	<i>PNAS</i>	108 (45)	18390-18395	2011
Mutai, H., Kouike, H., Teruya, E., Takahashi-Kondomoari, I., Kakishima, H., Tajii, H., Usami, S.I., Okuyama, T., Matsunaga, T.	Systematic analysis of mitochondrial genes associated with hearing loss in the Japanese population: dHPLC reveals a new candidate mutation	<i>BMC Med. Genet.</i>	12	1-12	2011
Moteki, H., Naito, Y., Fujiwara, K., Kitoh, R., Nishio, S., Oguchi, K., Takumi, Y., Usami, S.I.	Different cortical metabolic activation by visual stimuli possibly due to different time courses of hearing loss in patients with <i>GJB2</i> and <i>SLC26A</i> mutations	<i>Acta. Oto-Laryngol.</i>	131	1232-1236	2011
宇佐美真一	難聴の遺伝子診断	日本臨牀	69 (2)	357-367	2011
Hasegawa, J., Hidaka, H., Tateda, M., Kudo, T., Sagai, S., Miyazaki, M., Katagiri, K., Nakanome, A., Ishida, E., Ozawa, D., Kobayashi, T.	An analysis of clinical risk factors of deep neck infection	<i>Auris.Nasus. Larynx.</i>	38 (1)	101-107	2011
Hidaka, H., Kuriyama, SI., Yano, H., Tsuji, I., Kobayashi, T.	Precipitating factors in the pathogenesis of peritonsillar abscess and bacteriological significance of the <i>Streptococcus milleri</i> group	<i>Eur. J. Clin. Microbiol. Infect. Dis.</i>	30 (4)	527-532	2011
Kawase, T., Maki, A., Takata, Y., Miyazaki, H., Kobayashi, T.	Effects of neck muscle vibration on subjective visual vertical: comparative analysis with effects on nystagmus	<i>Eur. Arch. Oto-rhinolaryngol.</i>	268 (6)	823-827	2011
Ogawa, T., Matsuura, K., Shiga, K., Tateda, M., Katagiri, K., Kato, K., Saijo, S., Kobayashi, T.	Surgical treatment is recommended for advanced oral squamous cell carcinoma	<i>Tohoku J. Exp. Med.</i>	223 (1)	17-25	2011

Satou, N., <u>Ishihara, K.</u> , Hiratsuka, M., Tanaka, H., Endo, Y., Saito, S., Iwatate, Y., Leonard, W.J., <u>Hirasawa, N.</u>	Induction of thymic stromal lymphopoietin production by xylene and exacerbation of picryl chloride-induced allergic inflammation in mice	<i>Int. Arch. Allergy Immunol.</i>	157	194-201	2011
Tanaka, R., Goi, Y., <u>Ishihara, K.</u> , Ueda, K., Narushima, T., Ohtsu, H., Hiratsuka, M., <u>Hirasawa, N.</u>	Enhancement of nickel elution by lipopolysaccharide-induced inflammation	<i>J. Derm. Sci.</i>	62	50-57	2011
Tanaka, R., Goi, Y., <u>Ishihara, K.</u> , Ueda, K., Narushima, T., Ohtsu, H., Ohuchi, K., Hiratsuka, M., <u>Hirasawa, N.</u>	Assessment of the release of nickel from biomaterials in vivo and in vitro: enhancement by lipopolysaccharide	<i>Inflam. Regene.</i>	31	302-306	2011
Sato, N., <u>Ishihara, K.</u> , Hiratsuka, M., <u>Hirasawa, N.</u>	Induction of thymic stromal lymphopoietin by chemical compounds in vivo and exacerbation of allergy	<i>Inflam. Regene.</i>	31	184-188	2011
Hong, J., Aoyama, S., <u>Hirasawa, N.</u> , Zee, O., <u>Ishihara, K.</u> , Hashida, C., Kimura, M., Seyama, T., Ohuchi, K.	Suppression of intracellular calcium levels and inhibition of degranulation in RBL-2H3 mast cells by the sesquiterpene lactone parthenolide	<i>Planta Medica.</i>	77	252-256	2011
Tamaki, Y., Honda, M., Muroi, Y., Arai, T., Sugimura, H., Matsubara, Y., Kanno, S., <u>Ishikawa, M.</u> , <u>Hirasawa, N.</u> , Hiratsuka, M.	Novel Single Nucleotide Polymorphism of the CYP2A13 gene in Japanese individuals	<i>Drug Metabolism & Pharmacokinetics.</i>	26	544-547	2011
Tamaki, Y., Arai, T., Sugimura, H., Sasaki, T., Honda, M., Muroi, Y., Matsubara, Y., Kanno, S., <u>Ishikawa, M.</u> , <u>Hirasawa, N.</u> , Hiratsuka, M.	Association between Cancer Risk and Drug Metabolizing Enzyme Gene (CYP2A6, CYP2A13, CYP4B1, SULT1A1, GSTM1, and GSTT1) Polymorphisms in Japanese Cases of Lung Cancer	<i>Drug Metabolism & Pharmacokinetics.</i>	26	516-522	2011
Honda, M., Muroi, Y., Tamaki, Y., Saigusa, D., Suzuki, N., Tomioka, Y., Matsubara Y., Oda, A., <u>Hirasawa, N.</u> , Hiratsuka, M.	Functional characterization of CYP2B6 allelic variants in demethylation of anti-malarial artemeth	<i>Drug Metab. Dispos.</i>	39	1860-1865	2011
Nakamura, H., Horikoshi, R., Usui, T., Ban, H. S.	Selective Inhibition of EGFR and VEGFR2 Tyrosine Kinases Controlled by a Boronic Acid Substituent on 4-Anilinoquinazolines	<i>Med. Chem. Commun.</i>	1	282-286	2011
Genady, A. R., <u>Nakamura, H.</u>	Amphiphilic Allylation of Arylidene-1,3-oxazol-5(4H)-one Using Bis- π -allylpalladium Complexes: An Approach to Synthesis of Cyclohexyl and Cyclohexenyl α -Amino Acid	<i>Org. Biomol. Chem.</i>	9	7180-7189	2011
Hayashi, C., Funayama, M., Li, Y., Kamiya, K., Kawano, A., Suzuki, M., Hattori, N., <u>Ikeda, K.</u>	Prevalence of <i>GJB2</i> causing recessive profound non-syndromic deafness in Japanese children	<i>Int J Pediatr Otorhinolaryngol.</i>	75 (2)	211-214	2011
神谷和作, <u>池田勝久</u>	多能性幹細胞を用いた遺伝性難聴に対する内耳細胞治療法の開発	日本臨牀	69 (12)	2215-2219	2011

小島由貴子, 石原研治	難聴患者の現状理解と新規教育実践方法の考案	茨城大学教育実践研究	30	203-217	2011
岸上葉子, 石原研治	難聴児に対する配慮のあり方 -難聴児をとりまく学校環境について-	茨城大学教育実践研究	30	195-201	2011



Molecular and Cellular Pharmacology

Hetero-oligomerization between adenosine A₁ and thromboxane A₂ receptors and cellular signal transduction on stimulation with high and low concentrations of agonists for both receptorsNatsumi Mizuno ^{a,b}, Tokiko Suzuki ^{a,1}, Noriyasu Hirasawa ^{b,*}, Norimichi Nakahata ^a^a Department of Cellular Signaling, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University, Aoba 6-3, Aramaki, Aoba-ku, Sendai 980-8578, Japan^b Department of Pharmacotherapy of Life-style Related Diseases, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University, Aoba 6-3, Aramaki, Aoba-ku, Sendai 980-8578, Japan

ARTICLE INFO

Article history:

Received 25 July 2011

Received in revised form 5 December 2011

Accepted 9 December 2011

Available online 16 December 2011

Keywords:

G protein-coupled receptor

Hetero-oligomer

Adenosine A₁ receptorThromboxane A₂ receptor

Cyclic AMP

Extracellular signal-regulated kinase

ABSTRACT

Growing evidence indicates that G protein-coupled receptors can form homo- and hetero-oligomers to diversify signal transduction. However, the molecular mechanisms and physiological significance of G protein-coupled receptor-oligomers are not fully understood. Both ADOR1 (adenosine A₁ receptor) and TBXA2R (thromboxane A₂ receptor α; TPα receptor), members of the G protein-coupled receptor family, act on astrocytes and renal mesangial cells, suggesting certain functional correlations. In this study, we explored the possibility that adenosine A₁ and TPα receptors form hetero-oligomers with novel pharmacological profiles. We showed that these receptors hetero-oligomerize by conducting coimmunoprecipitation and bioluminescence resonance energy transfer (BRET²) assays in adenosine A₁ receptor and TPα receptor-cotransfected HEK293T cells. Furthermore, coexpression of the receptors affected signal transduction including the accumulation of cyclic AMP and phosphorylation of extracellular signal-regulated kinase-1 and -2 was significantly increased by high and low concentrations of adenosine A₁ receptor agonist and TPα agonists, respectively. Our study provides evidence of hetero-oligomerization between adenosine A₁ and TPα receptors for the first time, and suggests that this oligomerization affects signal transduction responding to different concentrations of receptor agonists.

© 2011 Elsevier B.V. All rights reserved.

1. Introduction

The classical concept that G protein-coupled receptors function as monomers has been changing due to the increasing evidence of G protein-coupled receptor oligomerization (Dalrymple et al., 2008; Rozenfeld and Devi, 2009). Oligomerization can increase the diversity of G protein-coupled receptor phenotypes (Panetta and Greenwood, 2008). Therefore, it is important to clarify the combinations of G protein-coupled receptors which form hetero-oligomers.

Adenosine has various physiological effects, causing reductions in sympathetic and parasympathetic activities, pre-synaptic inhibition, ischemic pre-conditioning and renal mesangial cell proliferation via adenosine receptors (Fredholm et al., 2001; Martínez-Salgado et al., 2007). Adenosine receptors are subclassified into A₁, A_{2A}, A_{2B} and A₃ subtypes (Fredholm et al., 2001), all of which couple to G proteins. G proteins that are activated by G protein-coupled receptors and

made up of alpha (α), beta (β), and gamma (γ) subunits. Gα subunits have many classes and behave differently in the recognition of the effectors. The adenosine A₁ receptor, the official gene name is ADOR1, which is coupled to members of the pertussis toxin (PTX)-sensitive family of G proteins, G_{i/o}α (G_i) proteins, which inhibits cyclic AMP production (Ralevic and Burnstock, 1998). Hetero-oligomerization of adenosine A₁ receptors with various G protein-coupled receptors was additionally reported. For example, adenosine A₁ and P2Y₂ receptors formed a hetero-oligomer with novel pharmacological properties, including ligand-binding pharmacology and receptor signal responses, in human embryonic kidney 293T (HEK293T) cells cotransfected with these receptors (Suzuki et al., 2009).

The thromboxane A₂ (TXA₂) is an unstable arachidonic acid metabolite. The TXA₂ receptor (TP receptor), the official gene name is TBXA2R, also belongs to the G protein-coupled receptor family, and communicates mainly with G_{q/11}α (G_q) (Johnston et al., 2001; Shenker et al., 1991), resulting in phospholipase C (PLC) activation. In addition, the TP receptor couples to other G proteins, including G₁₂α (G₁₂), G₁₃α (G₁₃), G_i and G_sα (Cordeaux et al., 2000; Djellas et al., 1999; Hirata et al., 1996; Nakahata, 2008; Offermanns et al., 1994). TXA₂ elicits diverse physiological/pathophysiological functions including the proliferation of glial cells and proliferation and contraction of renal mesangial cells upon binding to TP receptors (Nakahata,

* Corresponding author. Tel.: +81 22 795 5915; fax: +81 22 795 5504.

E-mail address: hirasawa@mail.pharm.tohoku.ac.jp (N. Hirasawa).¹ Present address: Laboratory of Physiology and Pharmacology, School of Advanced Science and Engineering, Waseda University, Twins, Wakamatsu-cho 2-2, Shinjuku-ku, Tokyo 162-8480, Japan.

2008). There are two alternatively spliced isoforms, TXA₂ receptor α TP α receptor and TXA₂ receptor β (Hirata et al., 1991; Raychowdhury et al., 1994), which differ only at the C-terminus. Both adenosine A₁ and TP receptors are expressed in astrocytes and renal mesangial cells (Darè et al., 2007; Martínez-Salgado et al., 2007; Nakahata, 2008). In addition, both receptors are involved in decreasing the glomerular filtration rate via enhancement of renal mesangial cell proliferation and contraction (Martínez-Salgado et al., 2007; Nakahata, 2008). The contraction of mesangial cells was induced by incubation with platelet-supernatants, and abolished by a TP receptor blocker (Arribas et al., 1993). TXA₂ and adenosine are released from platelets. TXA₂ is involved in platelet activation, leading to platelet shape changes, aggregation and secretion (Nakahata, 2008). On the other hand, adenosine is a potent inhibitor of platelet activation (Cooper et al., 1995). From this evidence, it is possible that adenosine A₁ and TP receptors interact physically and functionally. In this study, we examined the hetero-oligomerization of the adenosine A₁ and TP receptors using coimmunoprecipitation and bioluminescence resonance energy transfer (BRET²) techniques, and the effects on their signal transduction in HEK293T cells cotransfected with plasmids for these receptors.

2. Materials and methods

2.1. Materials

Human embryonic kidney 293T (HEK293T) were provided by Hiroyasu Nakata (Department of Molecular Cell Signalling, Tokyo, Japan). DeepBlueC was purchased from Perkin Elmer Life Sciences (Boston, MA). Forskolin was purchased from Wako Pure Chemicals (Osaka, Japan). Pertussis toxin and 4-(3-butoxy-4-methoxybenzyl)imidazolidin-2-one (Ro20-1724) were from Calbiochem (San Diego, CA). 1S-[1 α ,2 α (Z),3 α ,4 α]-7-[3-[[2-[(phenylamino)carbonyl]hydrazine]methyl]-7-oxabicyclo[2.2.1]hept-2-yl]-5-heptenoic acid (SQ29548) and 9,11-dideoxy-9 α ,11 α -epoxymethanoprostaglandin F₂ α (U46619) were from Cayman Chemical (Ann Arbor, MI). N⁶-cyclopentyladenosine (CPA) and 8-cyclopentyl-1,3-dipropylxanthine (DPCPX) was from Sigma Aldrich (St. Louis, MO). Fura 2-AM was purchased from Dojindo (Kumamoto, Japan). Anti-HA antibody and FuGENE HD Transfection Reagent were purchased from Roche Applied Science (Manheim, Germany). HRP-conjugated anti-mouse IgG, Protein G-Sepharose™ and ECL™ Western blotting detection reagent were purchased from GE Healthcare (Piscataway, NJ). Anti-myc 9E10 antibody was purchased from Covance (Berkeley, CA). Anti-adenosine A₁ receptor antibody was from Acris Antibodies GmbH (Hiddenhausen, Germany). Anti-ERK 1/2 antibody, anti-phospho-ERK 1/2 antibody and HRP-conjugated anti-rabbit IgG were purchased from Cell Signaling Technology (Beverly, MA). HRP-conjugated anti-rat IgG was purchased from Santa Cruz Biotechnology (Santa Cruz, CA). Triple hemagglutinin-tagged adenosine A₁ receptor (3HA-adenosine A₁ receptor), hemagglutinin-tagged lysophosphatidic acid 1 receptor (HA-lysophosphatidic acid 1 receptor) and G-protein alpha q (G_q) plasmids were purchased from UMR cDNA Resource Center (Rolla, MO). Other chemicals used were of reagent grade or the highest quality available.

2.2. Construction of plasmids, cell culture and transfection

The HA-tagged TP α receptor (HA-TP α receptor), HA-tagged adenosine A₁ receptor (HA-adenosine A₁ receptor), myc-tagged adenosine A₁ receptor (myc-adenosine A₁ receptor), HA-adenosine A₁ receptor-Renilla luciferase (HA-adenosine A₁ receptor-Rluc) and HA-adenosine A₁ receptor-modified green fluorescent protein (HA-adenosine A₁ receptor-GFP²) were constructed as described previously (Suzuki et al., 2006; Suzuki et al., 2009). HEK293T cells were grown in Dulbecco's modified Eagle's medium (DMEM; Sigma Aldrich, St. Louis, MO) containing 10% fetal calf serum, 50 units/ml penicillin,

and 50 μ g/ml streptomycin in a humidified incubator with a 5% CO₂ atmosphere at 37 °C. Transfections were done with FuGENE HD Transfection Reagent as described before (Suzuki et al., 2006).

2.3. Immunoprecipitation

HEK293T cells transfected with the myc-adenosine A₁ receptor, HA-TP α receptor and HA-lysophosphatidic acid 1 receptor were cultured for 48 h. Approximately 10⁷ cells were collected by centrifugation at 1900 \times g and washed twice with Dulbecco's phosphate-buffered saline (137 mM NaCl, 2.7 mM KCl, 1.5 mM KH₂PO₄, and 8.1 mM Na₂HPO₄). Cells were disrupted by sonication using a Handy Sonic UR-20P (Tomy Seiko, Tokyo, Japan) in 300 μ l of lysis buffer (20 mM Tris-HCl pH7.4, 1 mM EDTA, 150 mM NaCl, 1% TritonX-100, and 1 mM Na₃VO₄). After incubation for 3 h at 4 °C, the solution was centrifuged at 17,400 \times g for 20 min at 4 °C, and the supernatant was pre-cleared with 30 μ l/ml of 50% (w/v) Protein G-Sepharose in lysis buffer, followed by centrifugation at 17,400 \times g for 10 s to remove nonspecifically bound proteins. The supernatant was incubated with anti-myc 9E10 antibody (10 μ g/ml) for 1 h, followed by Protein G-Sepharose™ (50 μ l/ml) for 2 h. The mixture was centrifuged, the resulting immune complex was washed twice with 500 μ l of lysis buffer, and bound proteins were eluted with 30 μ l of Laemmli sample buffer (75 mM Tris-HCl, 2% SDS, 10% glycerol, 3% 2-mercaptoethanol, and 0.003% bromophenol blue).

2.4. Extracellular signal-regulated kinase1/2 (ERK1/2) assay

HEK293T cells were seeded onto 12-well plates at a density of 10⁵ cells/well. At 24 h after seeding, the cells were transfected with the 3HA-adenosine A₁ receptor and HA-TP α receptor. For pertussis toxin treatment, cells were incubated with 100 ng/ml of pertussis toxin for 16 h. They were washed with a Tyrode-HEPES solution (137 mM NaCl, 2.7 mM KCl, 1.0 mM MgCl₂, 1.8 mM CaCl₂, 10 mM HEPES, and 5.6 mM glucose, pH 7.4) and preincubated for 20 min at 37 °C. The cells were incubated with DPCPX, SQ29548 or YM-254890 (Astellas, Tokyo, Japan) for 10 min prior to stimulation with CPA and/or U46619 for 10 min at 37 °C. The reaction was terminated by aspiration of the medium and cells were lysed in 150 μ l of ice-cold Laemmli sample buffer.

2.5. Western blot analysis

The samples were loaded on a 10% sodium dodecyl sulfate (SDS)-polyacrylamide gel for electrophoresis (PAGE), and transferred to polyvinylidene difluoride (PVDF) membranes. The membranes were blocked with 5% non-fat milk in TBST (10 mM Tris-HCl, 100 mM NaCl, and 0.05% Tween 20, pH 7.4), incubated with anti-HA antibody (1:2000), anti-adenosine A₁ receptor antibody (1:2000), anti-ERK1/2 antibody (1:2000) or anti-phospho ERK1/2 antibody (1:2000) for 90 min followed by HRP-conjugated anti-rat IgG (1:2000) or anti-rabbit IgG (1:5000) for 90 min at room temperature, and detected with ECL™ Western blotting detection reagents.

2.6. BRET² assay

HEK293T cells (5 \times 10⁵ per 35 mm dish) were cotransfected with a fixed amount (1 μ g) of HA-adenosine A₁ receptor-Rluc and HA-adenosine A₁ receptor-GFP² plasmids and increasing concentrations of unfused receptor plasmids (0, 0.4, 0.8, 1.2, 1.6, 2.0 μ g of HA-adenosine A₁ receptor or HA-TP α receptor plasmids, and 0, 0.6, 1.2, 1.8, 2.7, 3.6 μ g of HA-lysophosphatidic acid 1 receptor) using the FuGENE HD Transfection reagent. For a control, non-transfected cells were used. At 48 h after transfection, the cells were harvested and suspended in assay buffer (Dulbecco's phosphate-buffered saline containing 0.1 mg/ml CaCl₂, 0.1 mg/ml MgCl₂, and 1 mg/ml D-

glucose). Suspended cells were distributed in a white-walled 96-well Plate (OptiPlate, Perkin Elmer Life Sciences) at a density of 1×10^6 cells/well, and incubated for 20 min at 37 °C. DeepBlueC was then added at a final concentration of 5 μ M. Assays were conducted immediately using a Fusion α universal microplate analyzer (Perkin Elmer Life Sciences) for the detection of Rluc at 410 nm and GFP² at 515 nm. The BRET ratio was calculated as the ratio between GFP² and Rluc emission, corrected with the background emission from non-transfected cells.

2.7. Measurement of intracellular Ca^{2+} concentrations

The measurement of intracellular free Ca^{2+} concentration ($[Ca^{2+}]_i$) was carried out as described previously (Sasaki et al., 2006). HEK293T cells were cotransfected with 3HA-adenosine A_1 receptor/ G_q , HA-TP α receptor/ G_q or 3HA-adenosine A_1 receptor/HA-TP α receptor/ G_q and cultured for 48 h. Transfected cells were harvested and suspended in Tyrode's solution (137 mM NaCl, 2.7 mM KCl, 1.0 mM $MgCl_2$, 1.8 mM $CaCl_2$, 5.6 mM glucose, and 10 mM HEPES, pH 7.4), incubated with 5 mM fura2-AM for 15 min at 37 °C. Subsequently the cells were washed twice with Tyrode's solution and modified Tyrode's solution (137 mM NaCl, 2.7 mM KCl, 1.0 mM $MgCl_2$, 0.18 mM $CaCl_2$, 5.6 mM glucose, and 10 mM HEPES, pH 7.4), and resuspended in modified Tyrode's solution at 10^6 cells/ml. Fura2-AM fluorescence was recorded (1.5 ml aliquots) at 37 °C with gentle stirring using a FP-6500 (JASCO Corporation, Tokyo) with excitation at 340 nm and 380 nm and emission at 510 nm. Calibration of the signal was performed in each sample by adding 0.15% Triton X-100 to obtain maximal fluorescence (F_{max}) and then 2.5 mM EGTA to obtain minimal fluorescence (F_{min}). The ratio of fluorescence at 340 nm to that at 380 nm is a measure of $[Ca^{2+}]_i$, assuming a K_d of 244 nM Ca^{2+} for fura 2-AM.

2.8. Cyclic AMP assay

HEK293T cells were seeded onto 48-well plates at a density of 2×10^4 /well. At 24 h after seeding, the cells were transfected with the 3HA-adenosine A_1 receptor and/or HA-TP α receptor. After 48 h, the medium was changed to Eagle's minimum essential medium–20 mM HEPES, and preincubated for 20 min at 37 °C. The cells were incubated with 100 μ M of Ro 20-1724 as a phosphodiesterase inhibitor for 15 min with or without receptor antagonists. The cells were then stimulated with a receptor agonist and 100 μ M forskolin, and incubated for another 10 min. Reactions were terminated by adding 2.5% perchloric acid. Acid-extracts were mixed with a 1/10 volume of 4.2 N KOH to neutralize the acid, forming potassium perchlorate as a precipitate. The cyclic AMP in the supernatant was succinylated and determined using a radioimmunoassay kit (Yamasa, Tokyo, Japan) according to the manufacturer's directions.

3. Results

3.1. Coimmunoprecipitation of myc-adenosine A_1 and HA-TP α receptors

To determine whether the adenosine A_1 and TP α receptors interact, we performed a coimmunoprecipitation analysis using HEK293T cells transiently transfected with the myc-adenosine A_1 receptor and/or HA-TP α receptor. We detected the myc-adenosine A_1 receptor in the complex precipitated with anti-myc in cells transfected with the myc-adenosine A_1 receptor and cotransfected with the myc-adenosine A_1 receptor/HA-TP α receptor (Fig. 1A, left panel, lanes 2 and 3 in 'IP', arrow), indicating the validity of this method. Importantly, we detected the band which corresponds to the HA-TP α receptor in the complex precipitated with anti-myc only in cells cotransfected with myc-adenosine A_1 /HA-TP α receptors (Fig. 1B, lane 3 in 'IP', arrows). This band was not obtained from the cells transfected with

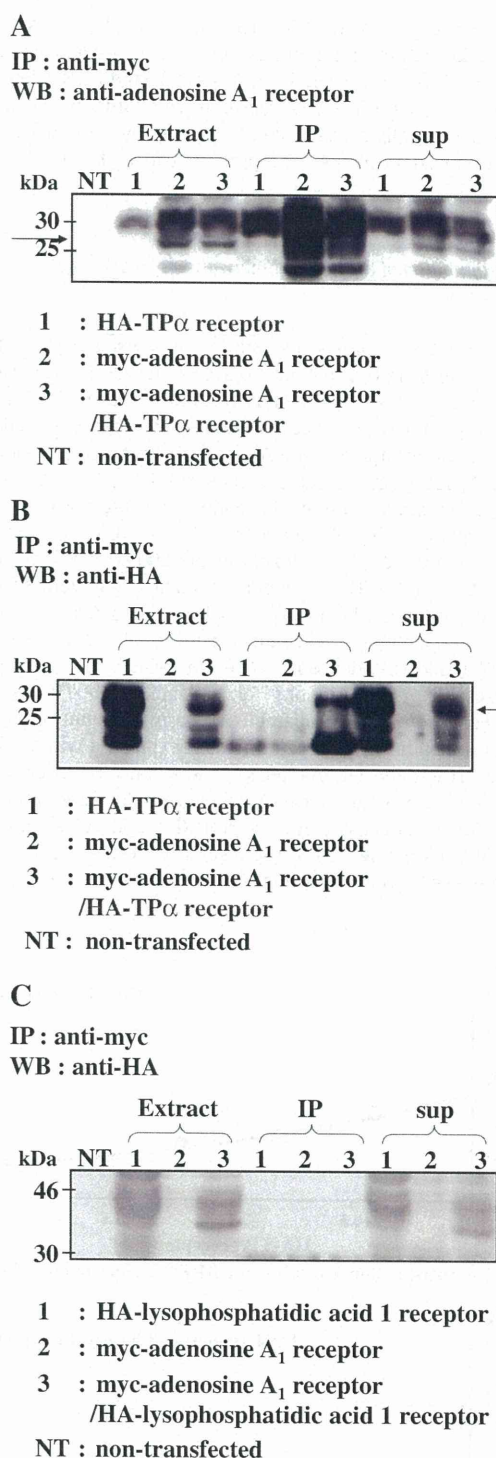


Fig. 1. Coimmunoprecipitation of the myc-adenosine A_1 receptor and HA-TP α receptor or lysophosphatidic acid 1 receptor. HEK293T cells transiently transfected with the myc-adenosine A_1 receptor and HA-prostanoid TP α receptor (A and B) or HA-lysophosphatidic acid 1 receptor (C). Cell lysates were immunoprecipitated with anti-myc antibody, and precipitates were analyzed by Western blotting with anti-HA (B and C) and anti-adenosine A_1 receptor (A) antibodies. A negative control of non-transfected cells showed no detectable bands (lane 'NT'). Arrows indicate the myc-adenosine A_1 receptor (A) and TP α receptor (B). Extract, solubilized membrane extract; IP, immunoprecipitate; sup, supernatant following immunoprecipitation; WB, Western blotting with the antibody indicated. Approximate molecular masses are shown in kDa.

the HA-TP α receptor alone (Fig. 1B, lane 1 in 'IP'). These results suggest the formation of a complex between myc-adenosine A₁ receptors and HA-TP α receptors in the cotransfected cells. We did not detect the myc-adenosine A₁ receptor in the complex precipitated with anti-myc in cells cotransfected with the myc-adenosine A₁ receptor and HA-adenosine A₁ receptor instead of HA-TP α receptor (Fig. 1C).

3.2. BRET² inhibition of the homo-dimerization of adenosine A₁ receptors by TP α receptors

We performed a competitive BRET² assay using HEK293T cells transiently transfected with Rluc- and GFP²-fused HA-adenosine A₁ receptors and unlabeled HA-TP α receptors. With this strategy, adenosine A₁ receptor/TP α receptor interactions were assessed based on the competition of adenosine A₁ receptor homodimerization with adenosine A₁ receptor/TP α receptor heterodimerization in the living cells. The homodimerization of adenosine A₁ receptors was confirmed by BRET² assay using HA-adenosine A₁ receptor-Rluc and HA-adenosine A₁ receptor-GFP² (Suzuki et al., 2009). The specificity of adenosine A₁ receptor/TP α receptor interaction was verified by the observed decrease in the BRET² signals of adenosine A₁ receptor homodimerization when constant amounts of HA-adenosine A₁ receptor-Rluc and HA-adenosine A₁ receptor-GFP² were coexpressed with increasing concentrations of unlabeled HA-TP α receptor (Fig. 2A). For a control, a comparable increasing amount of unlabeled HA-lysophosphatidic acid 1 receptor was coexpressed with a constant amount of HA-adenosine A₁ receptor-Rluc and HA-adenosine A₁ receptor-GFP², which did not cause a significant decrease in the BRET² signal of the HA-adenosine A₁ receptor-Rluc and HA-adenosine A₁ receptor-GFP² pairs (Fig. 2B). These results suggested that in cotransfected living cells, the adenosine A₁ and TP α receptors formed a

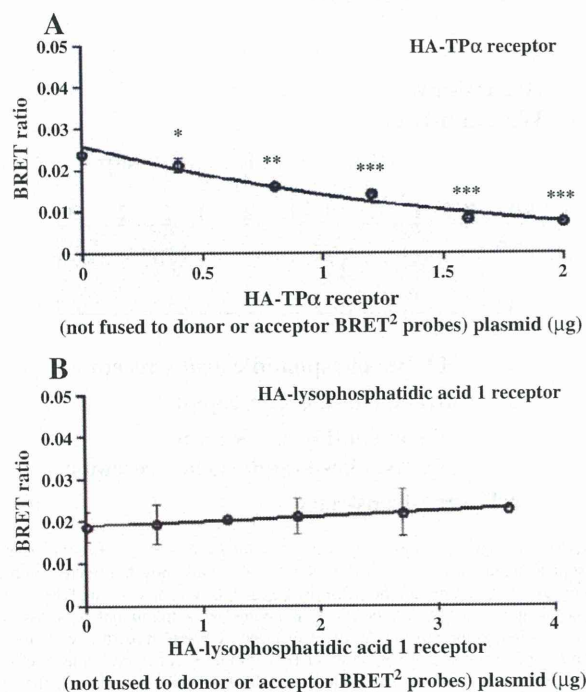


Fig. 2. Competitive BRET² assay. HEK293T cells were cotransfected with a fixed concentration of HA-adenosine A₁ receptor-Rluc and HA-adenosine A₁ receptor-GFP² plasmids and increasing amounts of (A) HA-TP α receptor, or (B) HA-lysophosphatidic acid 1 receptor plasmids. The data are the mean \pm S.E.M for three experiments. * P <0.05, ** P <0.005, *** P <0.001 vs. 0 (Dunnett's test).

heterodimer whereas the adenosine A₁ receptor and lysophosphatidic acid 1 receptor did not.

3.3. Effect of adenosine A₁ receptor and TP α receptor agonists on forskolin-stimulated cyclic AMP accumulation

We next examined whether the adenosine A₁ receptor/TP α receptor-coexpression affects signal transduction. We studied adenosine A₁ receptor agonist-induced inhibition of adenylyl cyclase via G_{i/o}. As expected, CPA (1 μ M), a selective adenosine A₁ receptor agonist (Ralevic and Burnstock, 1998), decreased the forskolin-evoked increase in cyclic AMP levels in the cells expressing the 3HA-adenosine A₁ receptor alone and the cells coexpressing 3HA-adenosine A₁ and HA-TP α receptors (Fig. 3A and B, 3rd column from the left). Furthermore, DPCPX (10 μ M) (Ralevic and Burnstock, 1998), a selective adenosine A₁ receptor antagonist, antagonized the CPA-induced inhibition of cyclic AMP levels in both 3HA-adenosine A₁ receptor-expressing cells and 3HA-adenosine A₁ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells (Fig. 3A and B, 6th column from the left). U46619, a selective TP α receptor agonist (Abramovitz et al., 2000), caused a small increase in forskolin-evoked cyclic AMP levels in cells

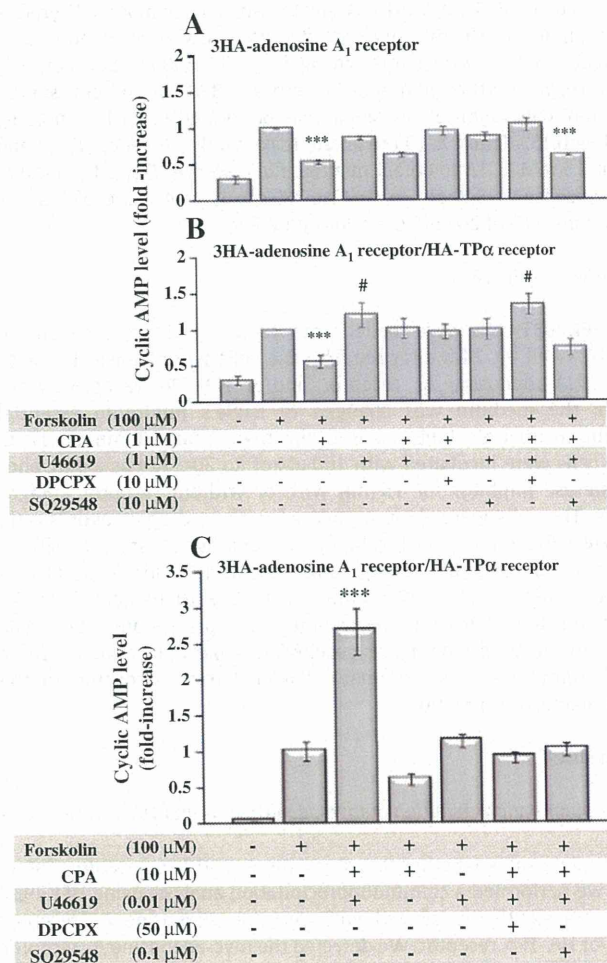


Fig. 3. Effects of adenosine A₁ receptor and TP α receptor agonists and antagonists on forskolin-stimulated cyclic AMP accumulation. Assays were performed in HEK293T cells transfected with the 3HA-adenosine A₁ receptor (A and C), HA-TP α receptor (D), and 3HA-adenosine A₁ receptor/HA-TP α receptor (B, E and F). The data were normalized to the forskolin-evoked cyclic AMP concentration in control cells (without ligands). The data are the mean \pm S.E.M of triplicate determinations, and the results are representative of two similar experiments. # P <0.05, *** P <0.001, vs. forskolin-stimulated cyclic AMP accumulation (Tukey's test).

expressing the HA-TP α receptor alone (data not shown) and coexpressing 3HA-adenosine A $_1$ and HA-TP α receptors (Fig. 3B). Furthermore, the U46619-induced increase in cyclic AMP was inhibited by SQ29548 (10 μ M), a TP α receptor antagonist (Nakahata, 2008), in 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells (Fig. 3B, 7th column from the left). The simultaneous addition of CPA (1 μ M) and U46619 (1 μ M) decreased the forskolin-evoked increase in cyclic AMP levels slightly in cells expressing the 3HA-adenosine A $_1$ receptor alone (Fig. 3A, 5th column from the left), though not at all in 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells (Fig. 3B, 5th column from the left). Notably, we found that the forskolin-evoked increase among 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells was markedly increased by the simultaneous addition of CPA (10 μ M) and U46619 (0.01 μ M) (Fig. 3C, 3rd column from the left). This characteristic increase was not induced by stimulation with CPA (10 μ M) or U46619 (0.01 μ M) individually (Fig. 3C, 4th and 5th columns). In addition, it was not seen in cells expressing the 3HA-adenosine A $_1$ receptor or HA-TP α receptor alone (data not shown). DPCPX (50 μ M) and SQ29548 (0.1 μ M) inhibited this synergistic increase by the simultaneous addition of CPA (10 μ M) and U46619 (0.01 μ M) in 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells (Fig. 3C, 6th and 7th columns from the left).

3.4. Effect of agonists for both adenosine A $_1$ and TP α receptors on ERK1/2 phosphorylation

It is reported that the individual stimulation of both the adenosine A $_1$ receptor and TP α receptor causes the activation of extracellular signal-regulated kinase-1/2 (ERK1/2), a major kinase of mitogen-activated protein kinase (MAPK) signaling pathways (Dickenson et al., 1998; Miggin and Kinsella, 2001). Then, we examined whether adenosine A $_1$ receptor/TP α receptor-coexpression affects ERK1/2 phosphorylation. Importantly, ERK1/2 phosphorylation in 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells was synergistically enhanced by the simultaneous addition of CPA and U46619 in all concentrations we tested, as compared with ERK1/2 phosphorylation in cells expressing the 3HA-adenosine A $_1$ receptor or HA-TP α receptor alone (Fig. 4A–C). This synergistic effect was not found on stimulation with CPA or U46619 alone (Fig. 4D–F). In addition, we examined the effects of receptor antagonists and pertussis toxin and YM-254890, which block signal transduction through G $_i$ and G $_q$, respectively. As shown in Fig. 5, pretreatment of 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells with DPCPX significantly inhibited the synergistic effect of CPA (0.1 μ M) and U46619 (0.1 μ M) or CPA (1 μ M) and U46619 (1 nM) (Fig. 5B and D). However, DPCPX did not block ERK1/2 phosphorylation on the addition of 1 nM CPA and 1 μ M U46619 (Fig. 5C). In addition, SQ29548 did not have any inhibitory effect on ERK1/2 phosphorylation (Fig. 5A–D). Pertussis toxin and YM-254890 significantly inhibited the synergistic effect of CPA (0.1 μ M) and U46619 (0.1 μ M) or CPA (1 μ M) and U46619 (1 nM) on ERK1/2 phosphorylation (Fig. 6A, B and D), whereas neither inhibitor had a significant effect on 1 nM CPA and 1 μ M U46619-stimulated ERK1/2 phosphorylation (Fig. 6A and C).

3.5. Effect of coexpression of adenosine A $_1$ and TP α receptors on Ca $^{2+}$ signaling

TP α receptor stimulation causes the activation of phospholipase C and subsequent elevation of [Ca $^{2+}$] $_i$ via G $_q$ (Shenker et al., 1991). In addition, adenosine A $_1$ receptor stimulation also causes an elevation of [Ca $^{2+}$] $_i$ via G $_b$ and G $_g$ released from G $_i$ (Dickenson and Hill, 1998; Quitterer and Lohse, 1999). We examined whether adenosine A $_1$ receptor/TP α receptor-coexpression affects the alteration of [Ca $^{2+}$] $_i$ in Fura2-AM-loaded cells. Stimulation of cells expressing the

HA-TP α receptor and coexpressing the 3HA-adenosine A $_1$ and HA-TP α receptors with U46619 (1 μ M) induced a rapid, transient elevation of [Ca $^{2+}$] $_i$ (Fig. 7B and C). Stimulation of 3HA-adenosine A $_1$ receptor-expressing cells and 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells with CPA (1 μ M) induced a subtle elevation of [Ca $^{2+}$] $_i$ (Fig. 7D and F). Simultaneous treatment with U46619 (1 μ M) and CPA (1 μ M) induced elevations of [Ca $^{2+}$] $_i$ in 3HA-adenosine A $_1$ receptor-expressing cells, HA-TP α receptor-expressing cells and 3HA-adenosine A $_1$ receptor/HA-TP α receptor-coexpressing cells (Fig. 7G, H and I), but we could not see obvious differences from stimulation with each agonist alone. Simultaneous stimulation of U46619 and CPA-induced elevation of [Ca $^{2+}$] $_i$ were blocked by pretreatment with SQ29548 (3 μ M, Fig. 8D–F), but not DPCPX (Fig. 8A–C).

4. Discussion

The present study proves the existence of a heteromeric complex formed by adenosine A $_1$ and TP α receptors in solubilized and living HEK293T cells coexpressing these receptors. Fig. 1 shows that coimmunoprecipitation revealed that the adenosine A $_1$ and TP α receptors associate in HEK293T cells cotransfected with these receptors. The possibility of hetero-oligomerization between adenosine A $_1$ and TP α receptors suggested by the coimmunoprecipitation assay using solubilized cell membranes (Fig. 1) confirmed with a competitive BRET 2 assay (Fig. 2). BRET 2 assay is using living cells, so we observed the interaction in the intact cells. The specific decrease in the BRET 2 signal of Rluc- and GFP 2 -fused adenosine A $_1$ receptor pairs on transfection of an increased amount of unlabeled TP α receptor was similar to the result obtained using an unlabeled adenosine A $_1$ receptor substituted for the TP α receptor (data not shown). Significant BRET 2 signal between Rluc- and GFP 2 -fused adenosine A $_1$ receptors indicated a homodimer as reported previously (Suzuki et al., 2009). It is likely that unlabeled TP α receptors and unlabeled adenosine A $_1$ receptors competitively blocked the interaction between Rluc- and GFP 2 -fused adenosine A $_1$ receptors. In the case of nonspecific interaction, a decrease in BRET signal would not be obtained (Marullo and Bouvier, 2007), as a result using the lysophosphatidic acid 1 receptor substituted for the TP α receptor (Fig. 2B). These results confirmed that adenosine A $_1$ and TP α receptors form hetero-oligomers in cotransfected HEK293T cells.

G protein-coupled receptor oligomerization may increase the diversity of G protein-coupled receptor phenotypes by altering the function of receptors. It is important whether oligomerization has some specific effects on the function of the receptor. In this study, in adenosine A $_1$ receptor/TP α receptor-coexpressing HEK293T cells, the cyclic AMP level and ERK1/2 activation were significantly altered. However, Ca $^{2+}$ signaling was not altered by the coexpression of adenosine A $_1$ and TP α receptors. In the cells which were not transfected with the TP α receptor, [Ca $^{2+}$] $_i$ was slightly increased by stimulation with the TP α receptor agonist, possibly because of endogenous TP α receptors in HEK293T cells (D'Angelo et al., 1996). Whereas, in the adenosine A $_1$ receptor/TP α receptor-coexpressing cells, costimulation with a high concentration (10 μ M) of adenosine A $_1$ receptor agonist and low concentration (0.01 μ M) of TP α receptor agonist markedly increased cyclic AMP levels (Fig. 3C). However, costimulation with equal concentrations of these agonists had no significant effect on cyclic AMP levels (Fig. 3B). This is similar to the case of adenosine A $_1$ receptor and P2Y $_2$ receptor-hetero-oligomer, which costimulation of high concentrations of P2Y $_2$ receptor agonist and low concentrations of adenosine A $_1$ receptor agonist had significantly affected cyclic AMP level (Suzuki et al., 2006). This characteristic increase of cyclic AMP levels by simultaneous treatment with a high concentration of adenosine A $_1$ receptor agonist and low concentration of TP α receptor agonist was inhibited by the antagonists for both receptors (Fig. 3C). Furthermore, a high concentration of

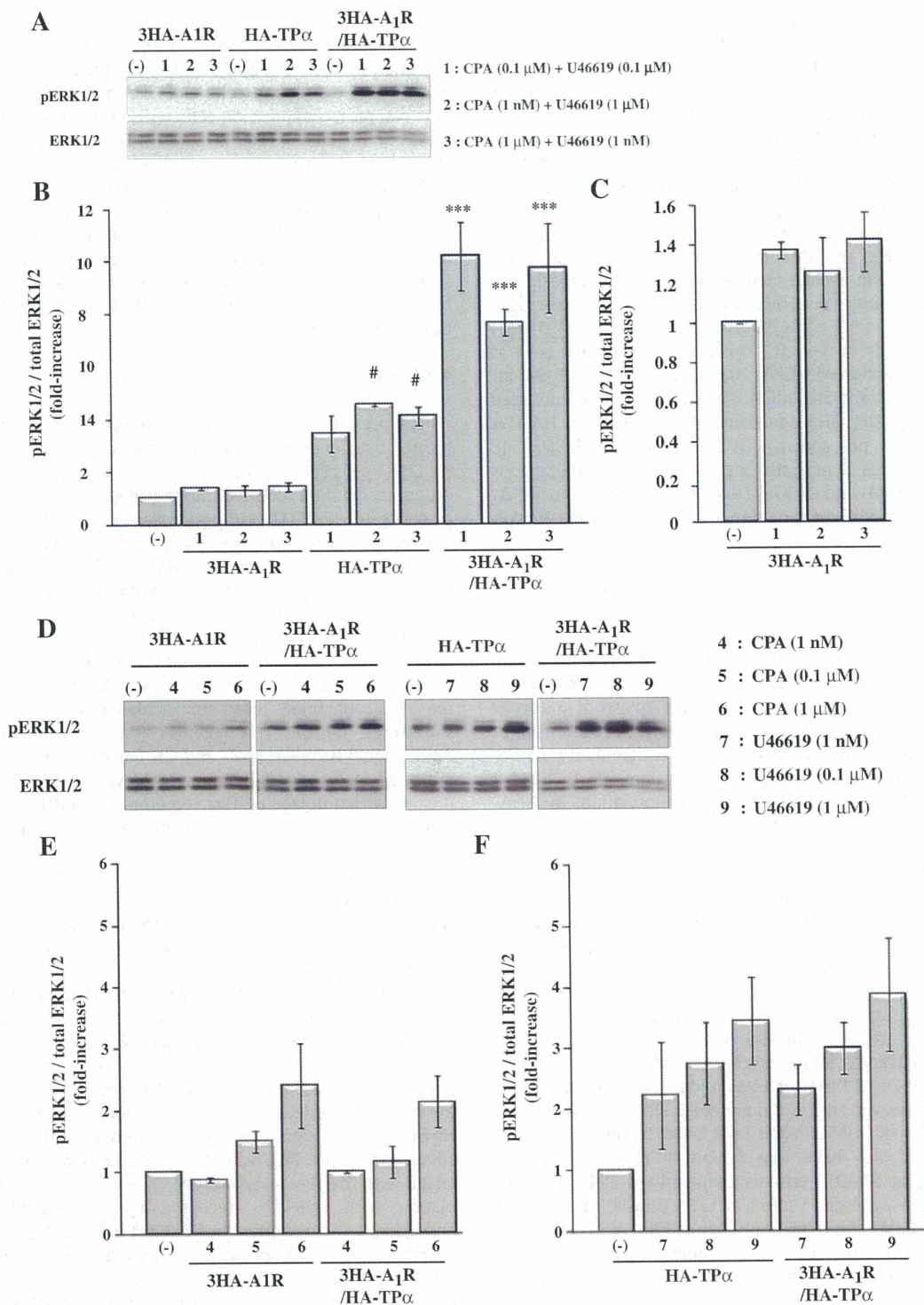


Fig. 4. Effect of CPA and U46619 on ERK1/2 phosphorylation. Assays were performed in HEK293T cells transfected with the 3HA-adenosine A₁ receptor (3HA-A₁R), and HA-TP α receptor (HA-TP α), 3HA-adenosine A₁ receptor/H A-TP α receptor (3HA-A₁R/H A-TP α). Cells were treated with vehicle (control; (-)) or indicated concentrations of agents. The cell lysates were resolved by SDS-PAGE and analyzed by Western blotting with anti-ERK1/2 and anti-phospho ERK1/2 antibodies (A and D). Fold increases in ERK1/2 phosphorylation in A and D, are presented as mean fold increases of control phosphorylation \pm S.E.M for three experiments (B, E and F). (C) Magnified image of control and adenosine A₁ receptor in B. ***P<0.001, #P<0.05 vs. (-) group (Tukey's test).

adenosine A₁ receptor agonist or low concentration of TP α receptor agonist alone did not have a significant effect on cyclic AMP levels in cells coexpressing adenosine A₁ and TP α receptors. The TP α receptor couples with not only G_q but also G_s, and a TP α receptor-mediated

increase in cyclic AMP level was reported (Nakahata, 2008). In fact, stimulation with the TP α receptor agonist induced an increase in cyclic AMP levels in cells expressing the TP α receptor alone (data not shown), though this increase was rather small compared to the

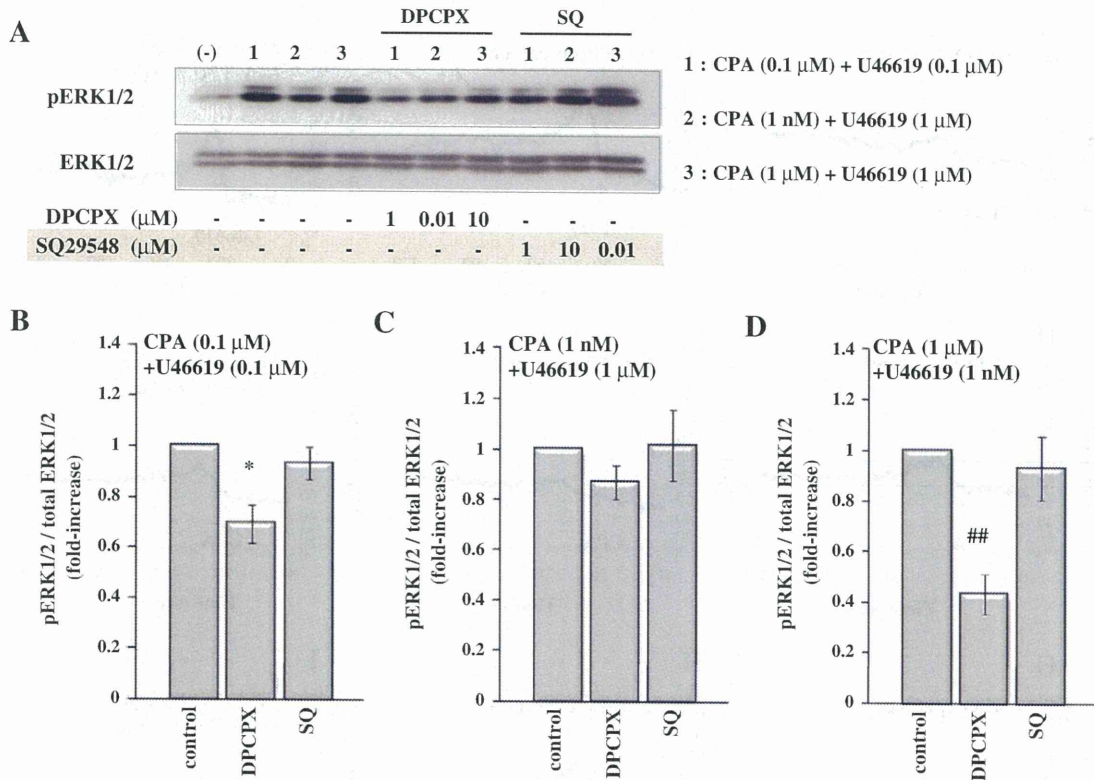


Fig. 5. Effect of DPCPX and SQ29548 on ERK1/2 phosphorylation induced by CPA and U46619. Assays were performed in HEK293T cells cotransfected with the 3HA-adenosine A₁ receptor and HA-TP α receptor. Cells were pretreated with the indicated concentration of DPCPX or SQ29548 and stimulated with vehicle (–) or indicated concentrations of agents. The cell lysates were resolved by SDS-PAGE and analyzed by Western blotting with anti-ERK1/2 and anti-phospho ERK1/2 antibodies (A). Fold increases in ERK1/2 phosphorylation in A, are presented as the mean \pm S.E.M for three experiments (B, C, D). * P <0.01, ## P <0.005 vs. control (Tukey's test).

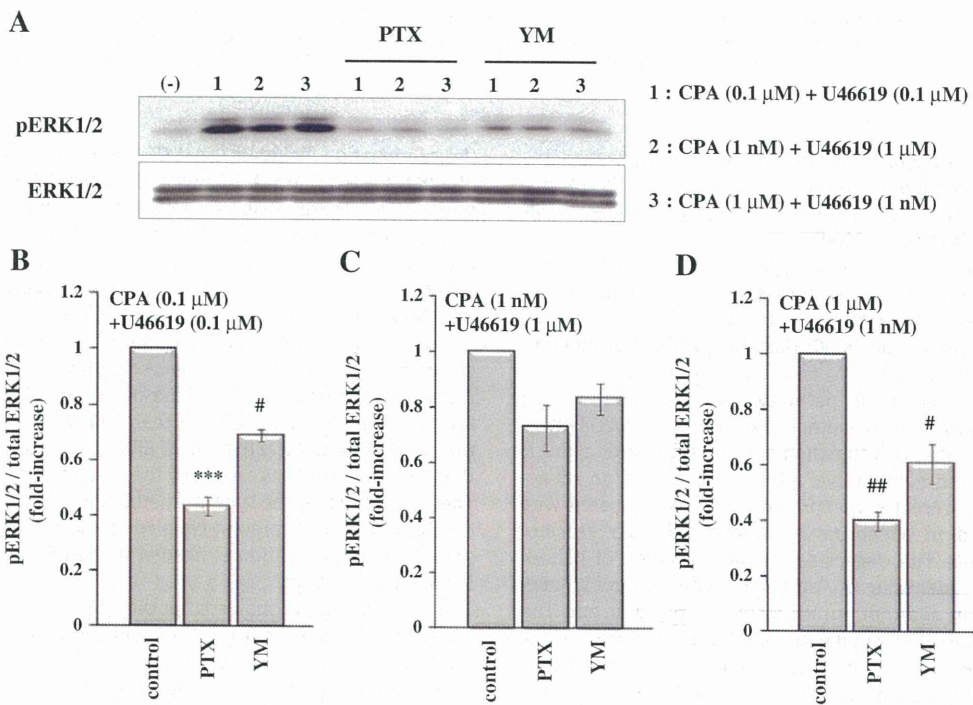


Fig. 6. Effect of pertussis toxin and YM-254890 on ERK1/2 phosphorylation induced by CPA and U46619. Assays were performed in HEK293T cells cotransfected with the 3HA-adenosine A₁ receptor and HA-TP α receptor. Cells were pretreated with 100 ng/ml pertussis toxin (PTX) for 16 h or 1 μM YM-254890 (YM) for 10 min, and stimulated with vehicle (–) or the indicated concentrations of agents. The cell lysates were resolved by SDS-PAGE and analyzed by Western blotting with anti-ERK1/2 and anti-phospho ERK1/2 antibodies (A). Fold increases in ERK1/2 phosphorylation in A, are presented as the mean \pm S.E.M for three experiments (B, C, D). *** P <0.001, ## P <0.005, # P <0.05 vs. control (Tukey's test).

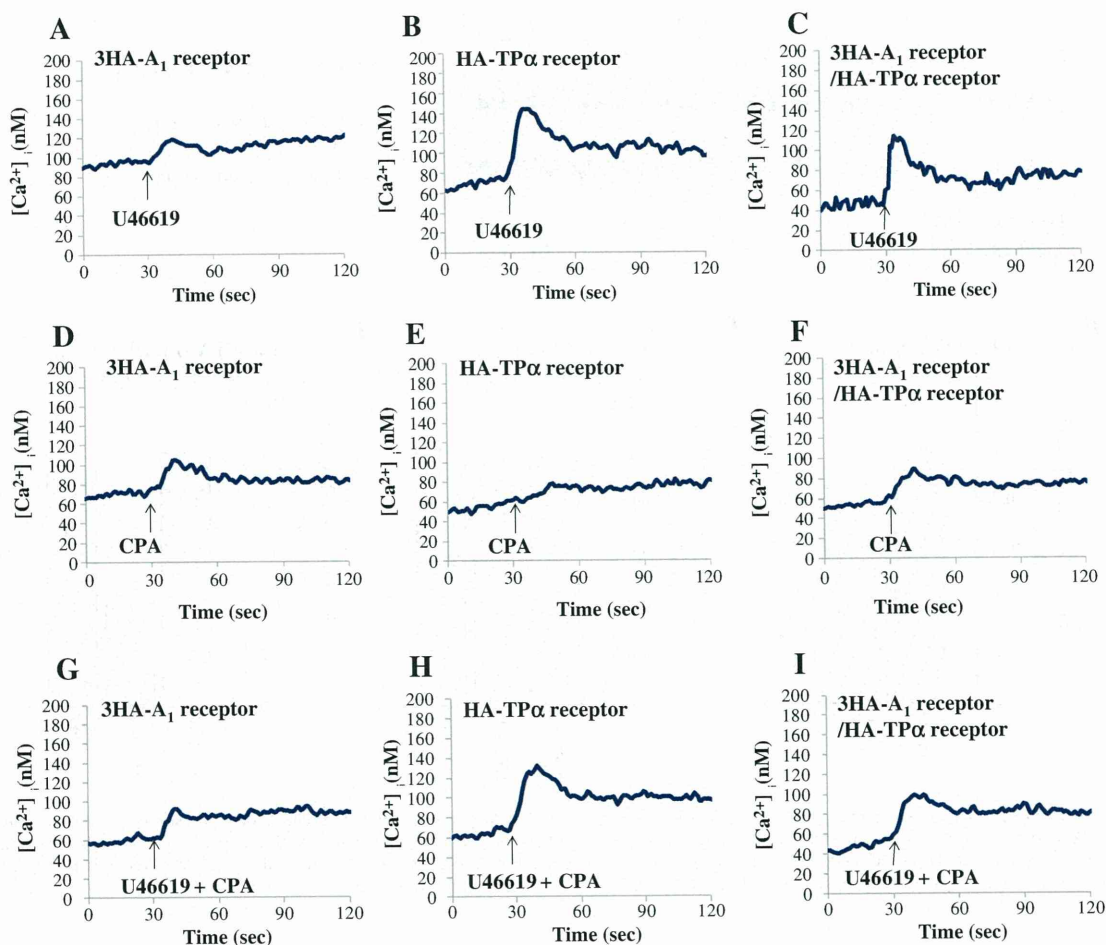


Fig. 7. Mobilization of Ca^{2+} evoked by the indicated agents in HEK293T cells transfected with the adenosine A_1 receptor and/or TP α receptor. Cells were transfected with 3HA- A_1 receptor and G_q (A, D, G), HA-TP α receptor and G_q (B, E, H), and 3HA- A_1 receptor/HA-TP α receptor and G_q (C, F, I). Cells were loaded with fura 2-AM and stimulated with the following agents at the times indicated by the arrows: (A, B, C) 1 μ M U46619; (D, E, F) 1 μ M CPA; (G, H, I); 1 μ M U46619 and 1 μ M CPA. The results are representative of two similar experiments.

notable effect of both agonists. Previously, heterodimerization between TP α and prostaglandin I_2 receptors in HEK293T cells cotransfected with both receptors facilitated TP α receptor-mediated cyclic AMP generation (Wilson et al., 2004).

Stimulation of the adenosine A_1 receptor activates ERK1/2 phosphorylation via G_i -derived $\beta\gamma$ subunits (Dickenson et al., 1998). ERK1/2 was activated not only by $\beta\gamma$ subunits but also by G_q , G_s and $G_{12/13}$ pathways (Honma et al., 2006; Nakahata, 2008; Norum et al., 2003). Therefore, both adenosine A_1 and TP α receptors could individually activate ERK1/2 via various pathways. We examined whether adenosine A_1 receptor/TP α receptor-coexpression affects ERK1/2 activation, and found that costimulation with both receptor agonists induced the synergistic, not additive, activation of ERK1/2 in adenosine A_1 receptor/TP α receptor-coexpressing cells as compared with the results obtained in adenosine A_1 receptor or TP α receptor alone-expressing cells. This suggests that the formation of heterooligomers between adenosine A_1 and TP α receptors could alter receptor functions. In addition, in adenosine A_1 receptor and TP α receptor-coexpressing cells, stimulation with the adenosine A_1 receptor agonist or TP α receptor agonist did not induce synergistic activation of ERK1/2. Namely, costimulation with both these receptor agonists on receptor-coexpressing cells was needed for the synergistic activation of ERK1/2. In adenosine A_1 receptor/TP α receptor-coexpressing cells, each concentration of U46619 in combination with 1 μ M and 0.1 μ M CPA induced greater ERK1/2 activation than

the combination including 1 nM CPA. And the synergistic facilitation of ERK1/2 activation was significantly suppressed by DPCPX, but not by SQ29548. These results suggest that the stimulation of adenosine A_1 receptors is important in this synergistic facilitation in receptor-coexpressing cells. Also, inhibition of G_i and G_q by PTX and YM-254890 suppressed ERK1/2 activation induced by costimulation with both agonists as well as the suppression by DPCPX. The synergistic ERK1/2 activation induced by both agonists in these receptor-coexpressing cells may have diverse pathways including G_i and G_q . Although we found that the adenosine A_1 receptor and TP α receptor form a heterooligomer, and that their ligands synergized the production of cAMP and the activation of ERK1/2, we could not demonstrate that the synergism was caused by the receptor heterooligomerization. The possibility that the synergism might be induced by interaction of different types of G protein coupled to these receptors was not denied. Further exploration is needed to clarify the precise molecular mechanism in detail.

In conclusion, we showed that the adenosine A_1 receptor and TP α receptor formed a hetero-oligomer in HEK293T cells. Furthermore, the coexpression of these receptors affected receptor signal responses. Namely, the accumulation of cyclic AMP and activation of ERK1/2 were markedly enhanced by costimulation especially with different concentrations of both receptor agonists in coexpressing cells as compared with that in cells expressing either of these receptors alone. Many neurotransmitters are released from presynaptic

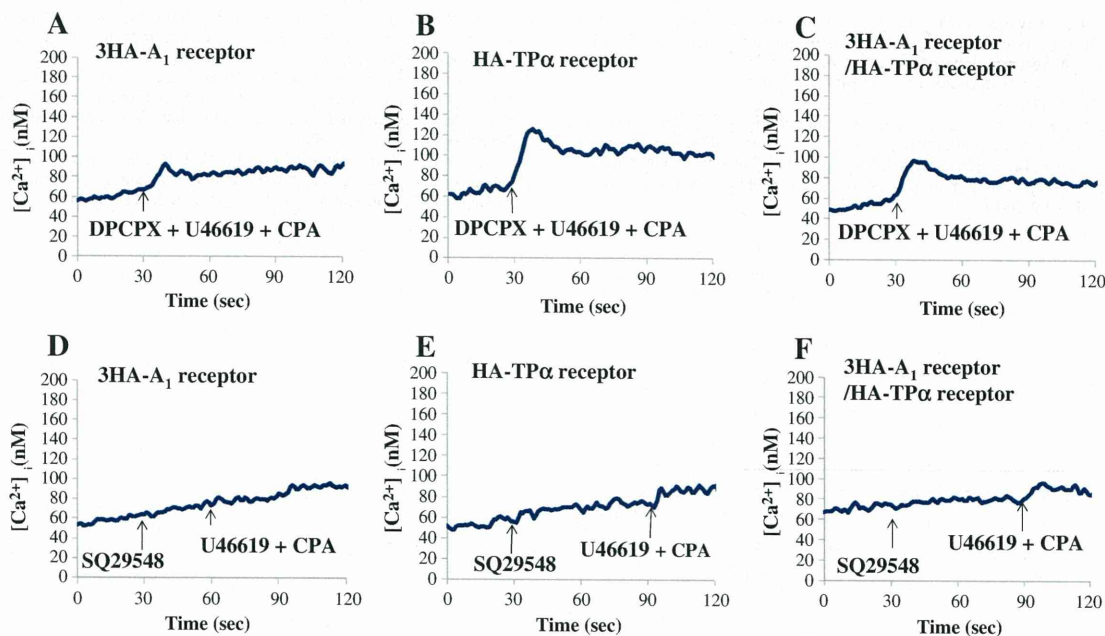


Fig. 8. Mobilization of Ca^{2+} evoked by indicated agonists and antagonists in HEK293T cells transfected with the adenosine A_1 receptor and/or $\text{TP}\alpha$ receptor. Cells were transfected with the 3HA-adenosine A_1 receptor and G_q (A, D), HA- $\text{TP}\alpha$ receptor and G_q (B, E), 3HA-adenosine A_1 receptor/HA- $\text{TP}\alpha$ receptor and G_q (C, F). Cells were loaded with fura 2-AM and stimulated with the following agents at the times indicated by the arrows: (A, B, C) $3\ \mu\text{M}$ SQ29548 and costimulated $1\ \mu\text{M}$ U46619 and $1\ \mu\text{M}$ CPA; (D, E, F) $10\ \mu\text{M}$ DPCPX, $1\ \mu\text{M}$ U46619 and $1\ \mu\text{M}$ CPA. The results were representative of two similar experiments.

regions simultaneously. Currently, many drugs are developed on the assumption that G protein-coupled receptor functions as a monomeric form. If G protein-coupled receptor forms an oligomer under certain pathological conditions, targeting of the oligomer may expand the potential for drug discovery. The present results suggest the regulation of signal transduction via G protein-coupled receptor heterodimers with different concentrations of neurotransmitters. The physiological role of G protein-coupled receptor oligomerization is still not fully understood. To identify the cells which have the receptor hetero-oligomerized of adenosine A_1 and prostanoid $\text{TP}\alpha$ receptors would be required to clarify the physiological roles.

Acknowledgments

We are grateful to Astellas Pharma Inc. (Tokyo, Japan) for providing YM-254890.

References

- Abramovitz, M., Adam, M., Boie, Y., Carrière, M.-C., Denis, D., Godbout, C., Lamontagne, S., Rochette, C., Sawyer, N., Tremblay, N.M., Bellef, M., Gallant, M., Dufresne, C., Gareau, Y., Ruel, R., Juteau, H., Labelle, M., Ouimet, N., Metters, K.M., 2000. The utilization of recombinant prostanoid receptors to determine the affinities and selectivities of prostaglandins and related analogs. *Biochim. Biophys. Acta* 1483, 285–293.
- Arribas, I., M.A.R., Díez Marqués, M.L., García Escribano, C., Rodríguez Puyol, D., Rodríguez Puyol, M., 1993. Direct interactions between platelets and cultured rat mesangial cells. *Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids* 49, 597–602.
- Cooper, J.A., H.S., Alexander, S.P., Rubin, P.C., Horn, E.H., 1995. Adenosine receptor-induced cyclic AMP generation and inhibition of 5-hydroxytryptamine release in human platelets. *Br. J. Clin. Pharmacol.* 40, 43–50.
- Cordeaux, Y., Bridson, S.J., Megson, A.E., McDonnell, J., Dickenson, J.M., Hill, S.J., 2000. Influence of receptor number on functional responses elicited by agonists acting at the human adenosine A_1 receptor: evidence for signaling pathway-dependent changes in agonist potency and relative intrinsic activity. *Mol. Pharmacol.* 58, 1075–1084.
- Dalrymple, M.B., Pflieger, K.D.G., Eidne, K.A., 2008. G protein-coupled receptor dimers: functional consequences, disease states and drug targets. *Pharmacol. Ther.* 118, 359–371.
- D'Angelo, D.D., Terasawa, T., Carlisle, S.J., Dorn II, G.W., Lynch, K.R., 1996. Characterization of a rat kidney thromboxane A_2 receptor: high affinity for the agonist ligand I-BOP. *Prostaglandins* 52, 303–316.

- Darè, E., Schulte, G., Karovic, O., Hammarberg, C., Fredholm, B.B., 2007. Modulation of glial cell functions by adenosine receptors. *Physiol. Behav.* 92, 15–20.
- Dickenson, J.M., Hill, S.J., 1998. Involvement of G-protein $[\beta\gamma]$ subunits in coupling the adenosine A_1 receptor to phospholipase C in transfected CHO cells. *Eur. J. Pharmacol.* 355, 85–93.
- Dickenson, J.M., Blank, J.L., Hill, S.J., 1998. Human adenosine A_1 receptor and P2Y_2 -purinoceptor-mediated activation of the mitogen-activated protein kinase cascade in transfected CHO cells. *Br. J. Pharmacol.* 124, 1491–1499.
- Djellas, Y., Manganello, J.M., Antonakis, K., Le Breton, G.C., 1999. Identification of $\text{G}\alpha_{13}$ as One of the G-proteins that couple to human platelet thromboxane A_2 receptors. *J. Biol. Chem.* 274, 14325–14330.
- Fredholm, B.B., Ijzerman, A.P., Jacobson, K.A., Klotz, K.-N., Linden, J., 2001. International Union of Pharmacology. XXV. Nomenclature and classification of adenosine receptors. *Pharmacol. Rev.* 53, 527–552.
- Hirata, M., Hayashi, Y., Ushikubi, F., Yokota, Y., Kageyama, R., Nakanishi, S., Narumiya, S., 1991. Cloning and expression of cDNA for a human thromboxane A_2 receptor. *Nature* 349, 617–620.
- Hirata, T., Ushikubi, F., Kakizuka, A., Okuma, M., Narumiya, S., 1996. Two thromboxane A_2 receptor isoforms in human platelets. Opposite coupling to adenylyl cyclase with different sensitivity to Arg60 to Leu mutation. *J. Clin. Invest.* 97, 949–956.
- Honma, S., Saika, M., Ohkubo, S., Kurose, H., Nakahata, N., 2006. Thromboxane A_2 receptor-mediated $\text{G}_{12/13}$ -dependent glial morphological change. *Eur. J. Pharmacol.* 545, 100–108.
- Johnston, J.B., Silva, C., Gonzalez, G., Holden, J., Warren, K.G., Metz, L.M., Power, C., 2001. Diminished adenosine A_1 receptor expression on macrophages in brain and blood of patients with multiple sclerosis. *Ann. Neurol.* 49, 650–658.
- Martínez-Salgado, C., García-Cenador, B., Fuentes-Calvo, I., Macías Núñez, J., López-Novoa, J., 2007. Effect of adenosine in extracellular matrix synthesis in human and rat mesangial cells. *Mol. Cell. Biochem.* 305, 163–169.
- Marullo, S., Bouvier, M., 2007. Resonance energy transfer approaches in molecular pharmacology and beyond. *Trends Pharmacol. Sci.* 28, 362–365.
- Miggin, S.M., Kinsella, B.T., 2001. Thromboxane A_2 receptor mediated activation of the mitogen activated protein kinase cascades in human uterine smooth muscle cells. *Biochim. Biophys. Acta* 1539, 147–162.
- Nakahata, N., 2008. Thromboxane A_2 : physiology/pathophysiology, cellular signal transduction and pharmacology. *Pharmacol. Ther.* 118, 18–35.
- Norum, J.H., Hart, K., Levy, F.O., 2003. Ras-dependent ERK activation by the human Gs-coupled serotonin receptors 5-HT4(b) and 5-HT7(a). *J. Biol. Chem.* 278, 3098–3104.
- Offermanns, S., Laugwitz, K.L., Spicher, K., Schultz, G., 1994. G proteins of the G_{12} family are activated via thromboxane A_2 and thrombin receptors in human platelets. *Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.* 91, 504–508.
- Panetta, R., Greenwood, M.T., 2008. Physiological relevance of GPCR oligomerization and its impact on drug discovery. *Drug Discov. Today* 13, 1059–1066.
- Quitterer, U., Lohse, M.J., 1999. Crosstalk between $\text{G}\alpha_i$ - and $\text{G}\alpha_q$ -coupled receptors is mediated by $\text{G}\beta\gamma$ exchange. *Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.* 96, 10626–10631.
- Ralevic, V., Burnstock, G., 1998. Receptors for purines and pyrimidines. *Pharmacol. Rev.* 50, 413–492.

- Raychowdhury, M.K., Yukawa, M., Collins, L.J., McGrail, S.H., Kent, K.C., Ware, J.A., 1994. Alternative splicing produces a divergent cytoplasmic tail in the human endothelial thromboxane A_2 receptor. *J. Biol. Chem.* 269, 19256–19261.
- Rozenfeld, R., Devi, L.A., 2009. Receptor heteromerization and drug discovery. *Trends Pharmacol. Sci.* 31, 124–130.
- Sasaki, M., Miyosawa, K., Ohkubo, S., Nakahata, N., 2006. Physiological significance of thromboxane A_2 receptor dimerization. *J. Pharmacol. Sci.* 100, 263–270.
- Shenker, A., Goldsmith, P., Unson, C.G., Spiegel, A.M., 1991. The G protein coupled to the thromboxane A_2 receptor in human platelets is a member of the novel G_q family. *J. Biol. Chem.* 266, 9309–9313.
- Suzuki, T., Namba, K., Tsuga, H., Nakata, H., 2006. Regulation of pharmacology by hetero-oligomerization between A_1 adenosine receptor and $P2Y_2$ receptor. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 351, 559–565.
- Suzuki, T., Namba, K., Yamagishi, R., Kaneko, H., Haga, T., Nakata, H., 2009. A highly conserved tryptophan residue in the fourth transmembrane domain of the A_1 adenosine receptor is essential for ligand binding but not receptor homodimerization. *J. Neurochem.* 110, 1352–1362.
- Wilson, S.J., Roche, A.M., Kostetskaia, E., Smyth, E.M., 2004. Dimerization of the human receptors for prostacyclin and thromboxane facilitates thromboxane receptor-mediated cAMP generation. *J. Biol. Chem.* 279, 53036–53047.

難聴患者とその家族が抱える悩みと 社会現状の違いについて

中島梨香子*・石原研治**

(2011年11月25日受理)

Deafness and the Family in Recent Social Situation

Rikako NAKAJIMA* and Kenji ISHIHARA **

(Received November 25, 2011)

はじめに

先天性難聴は新生児の1000人に1人の割合で誕生し、先天性疾患の中でも最も頻度の多い疾患に属する¹⁾。その中でも遺伝性難聴は先天性難聴の原因の約50%を占め、実に新生児の2000人に1人の割合で誕生する。この遺伝性難聴は遺伝子の変異に起因しているため、現在、根治する治療法はなく人工内耳や補聴器等を装用して難聴者の聴力が確保されている。しかし、このような人工内耳や補聴器の装用は、遺伝性難聴に限らず感音性難聴や伝音性難聴などあらゆる種類の難聴において聴力確保のための一般的な方法として選択されている。

近年では、新生児聴覚スクリーニングが行われるようになり難聴の早期発見が可能になった。この検査の導入に加え人工内耳や補聴器の性能も向上したことにより、難聴児がそれらを早期に装用することが可能になったため難聴児の言語習得のレベルも向上し、難聴を抱える子どもたちも通常学校に在籍するケースも珍しくない程に増えてきている。

しかし、感音性・伝音性問わず難聴者のQuality of Life (QOL) は健聴者からの認識という点で依然として十分ではない。医学や工学などの最先端研究では、難聴者のQOLを向上させるという事を目指して治療薬や医療機器の開発研究が進められている。しかしながら、難聴者も健聴者も「人」とあるということを考えたとき、医学や工学などの「物」の開発発展によるQOL向上のみでは人と人のつながりやすさややすさである社会面・精神面までは補いきることは出来ない。

難聴者が自らの理想とする生き方および社会的にみて人間らしい生活を送ることができるためには、健聴者と難聴者の調和のとれた社会基盤を構築する教育の向上が、医学や工学に加えて必要

* 群馬県立尾瀬高等学校（〒378-0301 群馬県沼田市利根町平川1406；Oze High School, Numata 378-0301, Japan）

** 茨城大学教育学部教育保健教室（〒310-8512 水戸市文京2-1-1；Faculty of Education, Ibaraki University, Mito 310-8512, Japan）

不可欠である。社会基盤を構築する「人」、すなわち、医療や教育、福祉を向上させていくのも難聴者をふくめた障害者と健常者のすべて「人」なのである。

小学校、中学校あるいは高等学校といった学校は、児童生徒が学力を身につける場だけではなく、いろいろな人と出会い、考えを吸収して個々を形成・成長させていく場でもある。つまり、このような人格形成期にあたる学校での教育を児童生徒が社会に出る前の“プレ社会”と位置づけ、健聴児が難聴者の気持ちや疾病に関する理解を深めることができれば、健康な人と疾患や障害を抱える人が共に明るく楽しい生活が送れる環境および社会あるいはその基盤を作り上げる手段の一つとなり得るはずである。

そこで、本研究では、健聴者が持つ難聴や難聴者に対する知識やイメージを質問紙調査を行い明らかにし、養護教諭という立場から、難聴者やその保護者の QOL を向上させるためには学校教育でどのような働きかけができるか、学校という場を難聴者と健聴者の認識の差を埋める場としてどのように活用していけるのかを考察することを目的とした。

方法

2009年10月にI大学に所属する252名の学生(教育学部・人文学部・理学部・工学部・農学部)を対象に質問紙調査を実施した。未記入事項を除いた有効回答枚数は244枚(96.8%)であった。調査内容は、聴覚障害の有無、聴覚障害を持つ人と出会ったことがあるか、物が見えにくい状態と音が聞こえにくい状態のどちらが想像しにくいのか、聴覚障害者に対するイメージ、聴覚障害の聞こえ方の症状に対する認識、補聴器の効果に対する認識、聴覚障害者手帳を持つ人はどのくらいの聴力レベルだと思うか、聴覚障害を持つ人と健聴者が同じ学校で学ぶことについてどう思うか(両方の立場で)、(聴覚障害を持っている人を対象に)難聴を抱える人が生活をする上であると良いと思う工夫や配慮である。これらに関連性があるかどうかについては χ^2 検定を行い、統計解析した。

結果

(1) 対象の背景

質問紙調査の対象(244名)は以下通りである。

所属学部 ... 教育学部 141名(57.8%)、人文学部 17名(7.0%)、理学部 47名(19.3%)、工学部 34名(13.9%)、農学部 5名(2.0%)。

学年 ... 1年次 89名(36.5%)、2年次 50名(20.5%)、3年次 47名(19.3%)、4年次 58名(23.8%)。

性別 ... 男性 119名(48.8%)、女性 125名(51.2%)。

(2) 聴覚障害の有無

「あなたは聴覚障害をもっていますか。」という問いに対して、「聴覚障害(難聴)をもっている

(もっていた)」と回答した者は 5 名 (2.0%) であり、「無し」と回答した者は 239 名 (98.0%) であった。「有り」と回答した者 5 名には、難聴の程度や種類、生活する上で、あると良い配慮や工夫について自由記述で回答してもらった。これらの結果は (10) に記載した。

(3) 聴覚障害を持つ人と出会ったことがあるか

(2) で「難聴無し」と回答した者 239 名 (健聴者) のみに回答してもらった。「あなたはこれまでに聴覚障害をもつ方と出会ったことがありますか。」という問いに対して、「出会ったことがある」と回答した者は 44.8% (107 名) であり、「出会ったことがない」と回答した者は 55.2% (132 名) であった。

(4) 物が見えにくい状態と音が聞こえにくい状態のどちらが想像しにくいか

「物が見えにくい状態と音が聞こえにくい状態のどちらが想像しやすいですか。」という問いに対して、「音が聞こえにくい状態 (聴覚障害)」と回答した者は 31.4% (75 名) であったのに対し、「物が見えにくい状態 (視覚障害)」と回答した者は 68.6% (164 名) であった。

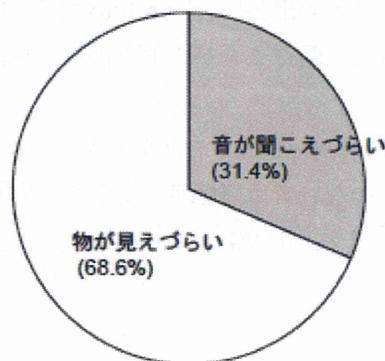


図 1. 健聴者は「物が見えにくい状態」と「音が聞こえにくい状態」のどちらが想像しやすいか (n = 239)

(5) 聴覚障害者に対するイメージ

健聴者がもつ難聴者に対するイメージを具体的に把握するために、「聴覚障害者に対してどのようなイメージを持っていますか。」という質問を行った。なお、回答は複数回答可とし、「イメージがわからない」と回答した者は他の項目を回答しないように設定した。回答は以下の表 1 の通りである。

「手話を使う」が 61.5% と一番高く、手話が難聴者の独自のコミュニケーションツールの代表格であるというイメージがある程度強いと思われる。また、「聞くことができない」および「大変そう」がともに 56.1% と半数を超え「コミュニケーションがとりづらい」が 49.0% と約半数が回答した。

「話すことができない」という項目での回答は 25.9% あり、「聞くことができない」と「話す

「できない」こととの関連性については人それぞれのイメージがあると考えられる。「イメージがわからない」と回答した者は4名と少なかった。

表 1. 健聴者がもつ難聴者に対するイメージ

難聴者に対するイメージ	人数 (人)	パーセント (%)
手話を使う	147	61.5
聞くことができない	134	56.1
大変そう	134	56.1
コミュニケーションがとりづらい	117	49.0
話すことができない	62	25.9
可哀想	24	10.0
イメージがわからない	4	1.7

n = 239 (複数回答可)

また、この質問においては難聴者との出会いの経験のある者と無い者の間で難聴者に対するイメージに有意に関連性があった項目は「聞くことができない」、「可哀想」、「手話を使う」の項目であった (図 2-4)。

図 2 は難聴者との出会い経験の有無と「聞くことができない」イメージの有無の関係を示したものである。難聴者と出会ったことのない者は難聴者に対して「聞くことができない」というイメージを抱く者が 65.2% で、ある者のそれ (44.9%) より多かった。

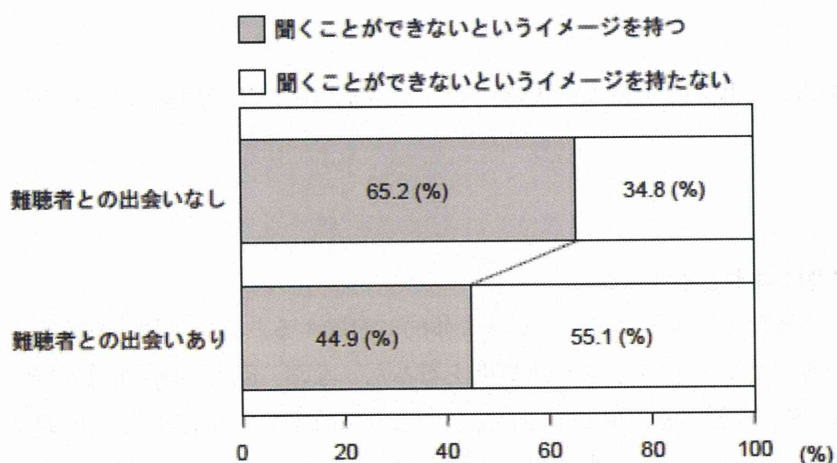


図 2. 「聞くことができない」というイメージを持つ健聴者と難聴者との出会いの経験の関連性